

IGF2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第38回会合 発言録案

2023年8月21日

【加藤】 それでは、改めまして定刻となりましたので、第38回目のIGFの活発化チーム会合をスタートしたいと思います。

今日、総務省から岡崎様が最初10分ぐらいは御参加いただけるということで、ぜひ最近の準備状況のお話を伺えればと思います。岡崎様、いらっしゃいますでしょうか。よろしくお願いいたします。

【岡崎】 はい、岡崎でございます。よろしくお願いいたします。前回からのアップデートということなんですけれども、こちらがお盆ということもあって、あまり大きな動きはございませんでした。

大きな動きといえば、スケジュールの大枠が公表されまして、ただハイレベルリーダーズセッションにつきましては、まだ枠は決まっているんですけれども、どこにどのテーマがはまるかということは最終的には決定はしておりませんで、それは今、順次国連のほうでもお声がけをいただいているんですけれども、その方々の都合で、登壇者の方によっては別のセッションにも出られる方たくさんいらっしゃるので、ここのセッションの裏では自分には出られないという方もいらっしゃると思いますので、今ちょっとそれでどのハイレベルセッションにどの枠をはめるか、メインホールの枠のどこをはめるかということを国連のほうを中心に調整しているというところでございます。

ほかは、私が聞いているところでは、セッションのスケジュールが出たので、自分たちの裏番組に何があって、裏番組じゃないところにおよそ誰がオーガナイザーでということも何となく見えるので、そういうことも含めて登壇の依頼が活発に飛び交っているという話はちらほらと聞こえてまいります。

ただ、ほとんど全部のセッションで総務省自身の中身を見ているわけではないので、実際にどなたが御登壇をされるかなどにつきましては、それぞれのオーガナイザーさんが御調整をいただいているというふうに認識をしております。

あとは、ビザのお問合せをいただいて、我々としてもホームページを修正したりして何とか皆さんにスムーズに取っていただけるようにということでやったんですけれども、Slackのほうでもいただきましたけれども、順次ビザの発給がされていると伺ってしまして。また何か御疑問等ございましたらおっしゃっていただければ、ホームページの修正なり国連の事務局に何か明確化してほしいことなどがありましたらおっしゃっていただければと思います。

アップデートなどは今回このぐらいということになってしまいうんですけれども、もし御質問などございましたらこの時間でいただければと思います。

【加藤】 岡崎さんありがとうございました。

ぜひこの機会に御質問等よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

本田さん、よろしくお願いいたします。

【本田】 個人で参加しています本田です。ちょっと久しぶりなんですけど、総務省で作成されて

いますIGFへの案内ページといたしますか、拝見しております。私が見た時点なので、もしかしたらまたその後変わっているかもしれませんが、一部は工事中というところがあったりして、全体的に一応完成するというか、アップデートが進むのはまた見通しはあるんでしょうかというところをお伺いしたいと思います。

【岡崎】 御参加いただくに当たって必要な情報が開催国なり、ビザの関係ですと政府内というと外務省さんなりというところとの調整が済み次第順次アップデートをしていて。すみません、私、直接ホームページを監督していないので、何が不足していてどこを、完成するのがいつかというのはちょっとお答えできないんですけれども、むしろ具体的にここの情報が足りないですとか、ここの情報だと分かりにくいですとかいうところがあれば、個別に御指摘をいただければ、なるべく早くその部分を手当てしていければと思います。

何か具体的に、例えばビザなんかも、とか身分証の関係ですとここで御指摘をいただいたものを国連と確認をして表記を見直してという流れも何度となくさせていただいているので、ここでインプット、ここなり後ほどメールでもSlackでもインプットいただければと思います。

【本田】 そうですね。どこというのは今すぐに指摘できないんですけれども、一応だんだん完成に近づいているというふうに思いますので、改めてそれを確認しておいていただけるとよいのかなということ。宿泊案内とかも、民間の業者のほうのページへのリンクというか、非常にスマートになっていましたので、結構分かりやすい部分もあったかなと、そういう部分においてはサービスが行き届いているなという感じもしましたので。あとはこれをいかに告知していくかということだと思いますので、ぜひそのところも、このページへどういう形でリーチしていただけるかということも課題かなというふうに思っているところです。それはコメントとなります。

【加藤】 ありがとうございます。

【岡崎】 ありがとうございます。

【加藤】 河内さん、手が挙がっていらっしゃるようですが、よろしくお願いします。

【河内】 ちょっとまだこれから話で、実際にまだそういう問合せが来ているわけではないんですけれども、もうセッションが全部ほぼ決まって、みんな今参加するのに日本に渡航する準備をしている中で、ビザの申請とかもそろそろ始めていると思うんですけれども。その中で、どうしてもビザがなかなか下りないとか、もう何週間たっても下りないとか、何とかならないのかとか、何が問題なのかとかという問合せが万一来た、ちょっと来るかどうか確定じゃないんですけれども、私がMAGメンバーであるということがあって、私のところにもし来たときに、どこか問い合わせたりとかできるようなことは何かありますか。いや、もしそういうのが難しいようであれば、もう最初から「それちょっと私にはどうしようもないんで」というふうに断るということも可能だと思う、可能というかそういうふうに言うしかないかなとは思っているんですけれども。

【岡崎】 ビザにつきましては、正直我々にできることはなくて、申請事由についてはレジストの紙を出していただければそれで申請事由となるということで、後は通常のビザ、国ごと、いろいろごとに各国にある日本大使館なり総領事館なりで審査をされるというプロセス以上のものはなくて。という以上のものがないので、もし何かなかなか下りないんだけどとかということを言う、もし何がしか御相談等されることがあれば、できることはもうその方が申請をされている大使館なり総領事館なりに御本人がお問合せをいただくということ以外にないかと思います。

私、個人的な経験であれなんですけれども、大使館に書記官として勤務をしていたことがあっ

て、フィリピンだったんですが、ビザはフィリピン人との関係でもよくイシューになることではあるんですけども、ビザの情報はかなりセキュリティーのレベルが高くて、大使館の中でも絶対に教えてくれない。例えば少し時間がかかっているとか、家族で申請したけれどもこの人だけ出なかったとか、そういう相談は山のように受けるんですけども、絶対に教えてくれないというぐらいの機密度の高い、個人情報の塊なのではないかと思います。

すみません、話が長くなりましたけれども、もしそういう御相談を受けていただいたら、その大使館なり総領事館の御担当の方にアップデートを聞いていただくというアドバイスしかできないかなとは思います。

もしこういう種類の書類が足りないとかいうので、こちら側が発給すべきものが何がしかの不具合で出ていないとか、レジストの正式な返事に何かの事情で不備があってとかいうことであれば、もしかしたら御相談に乗れるかもしれないんですけども。基本的には、ホスト国としては会議のレジストのやつを出して通常の手続に乗ってくださいという以上のことはできないので、そのようにお答えいただければと思います。ちょっと話が長くなっちゃってすみません。

【河内】 いえ、分かります。この間、つい先日、要するにビザの申請に登録したときに、あなたは登録されましたというメールとかがあればそれで申請できますという問合せがあったのでそれを返したら、いや、そりゃ申請はできるけど、それで、要するに、ここでも話があったか分からないですけども、招聘状ではなくて、あくまであれは参加は自由のものに対して参加してもらっただけだから、必ず下りるというわけじゃないから、なのでそこが問題なんですよねみたいなことをインド人から言われて、それ以上は何も言えないなと思ったので。

【岡崎】 もうおっしゃるとおりでございます。

【河内】 そこはよく理解しています。ありがとうございます。

【岡崎】 ありがとうございます。

【加藤】 ありがとうございます。

山崎さん、お願いします。

【山崎】 総務省さんから外務省さんには、京都でこういう会議をいつやって、自由参加の会議だけでも、国連からこういうメールが来ているから、それを証拠にビザ申請が出ますということとは伝わっているわけですか。

【岡崎】 はい、もちろんです。

【山崎】 もちろん必ず通るといえるのは保証できないし、それは在外公館の判断なんでしょうけれども、そこは一応考慮はされているけれども必ず出るわけじゃないという答えになるという理解でよろしいでしょうか。

【岡崎】 おっしゃるとおりです。外務省の担当には、ホームページの記載も外務省の担当との調整をして記載をしているので。なので、こういう会議が確かにあって、それをホストしているのは日本国政府で、担当は総務省でこういう会議は確かにあって、レジストのアクセプトのメールはこういうのが行くから、これがあったらそういう会議だよということは周知はしてもらっています。

【山崎】 ありがとうございます。以前日本政府の某部署の方がおっしゃっていたのは、IGFで

はなくて別の国際会議でしたけれども、普通だったら入れないような人もこういう国際会議で申し込んできたなら入れざるを得ないから、外務省との調整が重要だとかということをおっしゃっていたのを伺った覚えがあるんですけれども、それは大体共通という理解でよろしいですか。

【岡崎】 はい、共通です。招待ベースのものと登録参加型のもの、登録参加型のものはどういう趣旨の会議でどういう人が登録できて、誰がその登録に関して審査なりスクリーニングをしていてみたいな話は丁寧に外務省に説明をして、この会議はこういうものですよということは御理解いただいた上で処理をしていただいています。

【山崎】 ありがとうございます。

【加藤】 ありがとうございます。

ほかの方がでしょうか、御質問。

岡崎さん、せっかくですので1つ質問させていただきたいんですが、IGFビレッジということで、いろいろな方が簡単なブースといいますか、場所をお借りできるようなところがあるということをおうわさで聞いたんですけれども、今その準備状況とか、まだ場所の余裕があるのか、何か背景も含めて御説明いただけますでしょうか。

【岡崎】 ビレッジのほうは国連のほうで募集はもう締め切っていて、スクリーニングは国連のほうでやっているものと、あと日本の、G7の高崎にいらっしやっていた方は展示を御覧いただいたかと思えますけれども、ああいう展示をぜひしてほしいということをチェンゲタイからもリクエストを直接いただいたので、それについて総務省としても高崎に出していただいた企業さんにもそういうリクエストが来ているということを周知したりをして。多分もうスペースに余裕があるということは、私、直接やってないのであれなんですけれども、スペースに余裕があるということは恐らくないとは思いますが。ちゃんと要するに1倍以上の競争率があって、スクリーニングをして場所の割当てなりを、今、調整をしているものと認識しております。

【加藤】 日本側のものはもうそういう意味で、まだ締切りではないけれども応募は十分あると、ということなんですね。

【岡崎】 日本語のものも。

【加藤】 日本側ですね。

【岡崎】 日本側のものも多分十分な数がもういるのでという形だと思っております。

【加藤】 分かりました。ありがとうございます。

ほかの方がでしょうか。せっかくの機会ですので、もうそろそろお時間、岡崎様の時間が迫っているかもしれないんですけれども、よろしいですか。

じゃあ岡崎さん、どうもお忙しい中、大変ありがとうございました。

【岡崎】 いつも慌ただしくて申し訳ないです。

【加藤】 とんでもないです。引き続きどうかよろしくお願いいたします。

【岡崎】 よろしく願いいたします。ありがとうございました。失礼いたします。

【加藤】 それじゃあ引き続きMAGの報告ということで、河内さん、お願いいたします。

【河内】　すみません、バーチャルを変えました。この間のそのままになっていてすみません。バーチャル、背景ですね。

それから、MAGですけれども、ちょっと前、1週間前ですかね、MAGがやっているメインセッションの枠が5つしかないところ、どうしてもテーマが6つから5つに絞れなくて、ずっと議論を、ジュネーブでも議論が何時間もまとまらなくて、結局決まらなかったんですけれども。その後もう一回電話会議でやったときも決まらなくて、それが恐らく何時間もまとまらない議論を聞いていた多分飯田さんとかが内々に調整してくださったんじゃないかと思うんですが、MAGがやっているメインセッションの枠が5つから6つに増えまして、そのまま6つのテーマでできることになっています。

それを今それぞれのセッションの、多分モデレーターとかスピーカーとか、そのセッションの内容の構成をするボランティアを過去のMAGのメンバーも含めて募集がかかっています、過去の人たちがたくさん自分もやる、自分もやると、どれにやる、どれに参加するとかいうようなメールがいっぱい飛び交っています。ですので、今メインセッションのほうの準備に取りかかっているという感じです。

それ以外の部分はMAGのほうでは特には進んでいない、大きく変わったところはないと思います。今はそんな感じですけども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。何か御質問とかあれば。

【加藤】　ありがとうございました。

御質問、御意見ございますか。

ハイレベルセッションの内容については、MAGとしては特に関与はしていないですね、今。

【河内】　してないですね。

【加藤】　それはIGFの事務局のほうで調整中だということですね。ありがとうございます。

【河内】　そうですね。多分ホスト国と事務局で調整しているんだと思います。

【加藤】　いかがでしょうか、御質問ございますか。

じゃあなければ、もし後でもあれば、河内さん引き続きいらしていただけたと思いますので、お願いいたします。

次の議題として、日本IGFタスクフォースからの御報告ということで、前村さん、いらっしやいますかね。

【山崎】　おりませんので、加藤さんもしくは私ということになるかと思います。

【加藤】　山崎さんのほう、特に8月8日のワーキンググループの話とその後のフォローアップ、山崎さんから御説明いただいてもよろしいでしょうかね。

【山崎】　前回、1日以降のアップデートは、8日にサブスタンスワーキンググループ会合が開催されたというだけですね。ここではセッションの採択結果を共有したり、活発化チームで事前会合をやりますよということを伝えたり、あとはサイドイベントについての情報の共有がされました。

最後に、これはサブスタンスワーキンググループの範疇じゃないんですけれども、もう一つ働

きかけのワーキンググループがあってそっちなんですけれども、そっちはちょっと会合が開けてないので、もうその文書について前村からメンバーに紹介があって、タスクフォースに入会する内容、働きかける内容について文案を示してコメントをもらったという、そういう感じですね。ただ、そこでいろいろコメントがここに書いてあるように出たんですけれども、その後まだ進捗が出てないという状況です。

サイドイベントについては、立石さん、田中さん、何かアップデートとかありますでしょうか。

【立石】 すみません、ちょっと待ってください。資料があるのに、すぐ手元にないんですが。SIGという、ダイナミック・コアリションというIGFのワーキンググループみたいなものがあるんですけれども、Schools on Internet Governanceという形でインターネットガバナンスをお世話しているおじさん、おばさんたちの団体と言うと怒られるかもしれませんが、あと日本の大学生、高校生に一応声をかけて、Day 0の1日前、僕は今勝手にDay マイナス1と言っていますけれども、10月7日にそのDC人たちと、あとカンボジアの子供たちが来るという話は聞いています。これからどこまで声かけられるかという話になると思うんですが。を、京都駅前の東京情報大学院大学、京都コンピュータ学院の校舎で、駅前のほうでそれを、昼前ぐらいからになると思うんですが、一応やるということで、今、予定しています。細かいことはまだこれからです。

それと、いわゆるDay 4まで、公式日程の中で0と1が政府のほうのガラディナーがあるという話だったので、一応今3と4、だから11、12かな、に簡単なプレゼンテーション、情報交換をする場と、それからあとその後懇親会をやるという形で今やろうかなということで準備を進めている状況です。これは恐らく1つはどこか京都の、せっかく皆さん京都に来ているので、京都のどこか京都らしいところ、日本らしいところの会場と。

もう一個は、もうちょっと真面目というのも変ですけど、プレゼンテーションしてお互いにもうちょっと深く、いろいろな団体にこれから声をかけようと思っているんですけれども、話をするために、1つは、もう一個、百万遍にも校舎があるので、百万遍の校舎を借りて、そっちのほうで1時間程度情報交換の場をやって、そこはそのままそこで懇親会もできるのでやろうかなと思っています。いずれも100人程度を一応想定して動いているという状況です。

それと、イベントではないんですが、当然サイドイベント等でもお金がかかるということもあるんでスポンサー集めをやっているんですが、そこでもし御協力いただけたところは今お願いしたいというのもあるんですけれども。それ以上に、ワークショップを提案されている方はもう皆さん御存じだと思いますけれども、いろいろな国のいろいろなところの団体の情報がないものですから、結構大変なことになっているということをワークショップをされている方は御苦労されていると思うんですが。

その逆のバージョン、日本のこういうテーマはこういう団体が扱っていますよというか、日常的に議論していますよ、日常的じゃなくてもいいんですけれどもやっていますよというふうな小冊子を今、作ろうとしています。まだこれちょっと御案内できる状況までいってなくて、本当は今日ぐらいにできてなかったらいけなかったんですけれども、ちょっとばたばたしていて私ができていないんですけれども。小冊子を作りますので、できるだけ私のほうからこちらに参加していってくださる方に声をかけようと思うんですけれども、もし万が一声がかからなかった、うちの団体こんなことやっているんでこういうのを紹介してくれという、2、30ページまでのものになると思うんですけれども、一応作ろうと思っていますので。

3,000部から4,000部作って、会場とかサイドイベントのところとか、あとIGFビレッジにも一

応うちも出す予定ですので、その辺で配ろうかなということでやっていますので、ぜひ。そうすると多分来年以降もそのパンフレットを捨てられないで、来年以降もほかの国の方からこのテーマで日本だったらこういうことやっている団体があるから声をかけてみようかなと言ってくれるようなものを一応作ろうと思っていますので、ぜひ皆さんの団体を登録させていただけたらと思います。

ちょっとコマーシャルにもなりましたけれども、そんな感じです。以上です。

【加藤】 立石さん、ありがとうございます。

御質問ございますか。山崎さんへのタスクフォースの御質問、並びに、立石さんの今のサイドイベントの幾つかのやつで、どちらでも結構かと思いますがいかがでしょうか。

【田中】 すみません、先ほどの。

【加藤】 田中さん、お願いします。

【田中】 10月7日のサイドイベントにつきまして、こちらサイトのほうでの情報公開はまだ準備中なんですけれども、概要という意味で、いろいろなIGFの活動に関わっている皆様に少し先出しで御紹介させていただければと思ひまして、チャットのほうにリンクを張っておきました。こちらチェンゲタイ事務局長に基調講演をお願いしておりまして、ちょっと今お休み中だということで、最終返事はまだいただいていないんですけれども、基本的にはその日にはもう日本にいてできそうだよというような返事をアンニャさんのほうからいただいておりますので、それをもってして、予定に変更の可能性はありますという注書きをつけて、こちらの形で皆さんには情報共有させていただければと思ってリンクを用意いたしました。

こちらのQRコードのほうから参加申込みのほうも準備をしておりますので、実際にはホームページにこのフォームを組み込んで、告知を開始するのはもう少し先になるかと思うんですけれども、こちらに携わっている皆さんにおかれましては先に御案内差し上げても差し障りはないかなと思いますので、今リンクのほうに情報提供させていただきました。

別途パンフレットのほうの取りまとめにつきましてはJAIPAさんのほうでされているんですけれども、団体紹介の部分については私のほうで、KCGグループのほうで支援をいたしますので、その団体掲載、団体として日本から海外に紹介されたいというところにつきましては、基本的にはこちらで活動されている皆様及びJAIPA、立石様から御紹介いただいたものを中心に載せていく予定ですので、また追々御相談させていただく形になるかと思いますが、我こそはという方で何か声かかってきてないぞとかということがもしあれば、私どものほうにお声がけいただければと思います。

側面に関しては以上かと思いますが、立石先生から何かございますでしょうか。

【立石】 いや、大丈夫です。ありがとうございます。

【加藤】 田中さん、ありがとうございました。

御質問いかがでしょうか。

もしなければ、今の点、この場をお借りしてこの活発化チームの皆様に御提案というかお伺いなんですけれども、今、立石さん、田中さんから御提案があったというか御報告があった、日本での活動の取りまとめの印刷物、その中に、この活発化チームもこれまでこういうことをやってきた

ということを説明する簡単な御説明を書かせていただくことでお話を進めさせていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

一応手続的に皆さんのコンセンサスを得た上でそのことが提案されたということで、時間をかけて活発化チームの場合は承認を取るという手続がありますので。スタート、印刷とかいろいろな準備があると思いますので、早めに進めたほうがいいと思いますので、できれば今日そういう提案があって、この場で異議がなければ、内容についてはこれまでいろいろなところで活発化チームの説明をしてきたようなものをベースに説明させていただくということで御承認をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

もし今、異議がなければ、一応そういう方向で決まったということで、山崎さん、この議事録の中に残していただいて、活発化チームの手続に沿って進めさせていただければというふうに思います。

ほか、今のタスクフォースとか、サイドイベント関係について、御質問、御意見ありますでしょうか。

1点、それでは、タスクフォースに関して補足ですけれども、前回のこの活発化チームの中でも御報告したのですけれども、タスクフォースの中で、先ほど山崎さんから御紹介があったように、今の5つの団体以外の方に声をかけるというのはまだ現時点では行われていないという状況だと思います。

それから、タスクフォースが10月の京都以降何らかの形で継続して、このインターネットガバナンスの問題を議論していこうという議論が始まったのですけれども、それについてもまだ方向性は出されていないということで。次の運営委員会、これはまだ未定だったと思いますけれども、以降その辺の議論が行われていくのかなというふうに思います。

ちょっとこれも予告ですけれども、そういったタスクフォースの今後の動き等を勘案して、この活発化チームも10月以降どうするかという懸案の議論をどこかで皆様にお諮りしたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

山崎さん、そのような理解でよろしかったでしょうかね。

【山崎】 はい、問題ないと思います。

【加藤】 ありがとうございます。そういう意味で、この活発化チームも、京都の会議前後に、今後どうしようかという、日本のIGF活動をどうしようかという議論をスタートさせていただくように、私も提案させていただきたいと思いますし、ぜひ皆さんの御意見も伺いたいというふうに思っています。

ということで、タスクフォースの話、サイドイベントの話は一応これで閉じたいと思います。

次のアジェンダアイテムですけれども、NRIに関してです。これは河内さん、先週の金曜日、NRIのサイバーセキュリティの議論あったと思いますが、御報告いただけますか。

【河内】 先週の金曜日の夜中にサイバーセキュリティの会合がありまして、セッションのモデレーターとか、あとオンラインモデレーターとか、スピーカーをどうするかという具体的な話にもなっています。モデレーターを誰にするかという話をしたときに、オンラインモデレーターだったかな、誰々、誰かやってもいいという人がいて、でも、その人が現地にいたほうがいいんじゃないかとか、いるかどうかまだ分からないんじゃないかとか何かそういう議論をしてい

て、もし行けなかったらそのときは皆さんに連絡するとか何とかと言っていました。

なので、もう具体的にスピーカーとかモデレーターとかを決めるような段階に、サイバーセキュリティのセッションはなっています。その上で、これから内容についての議論も進めていくということになると思います。サイバーセキュリティはそんな感じです。

【加藤】 ありがとうございます。

続いて、同じくNRIに参加されている山崎さん、何かございます？

【山崎】 サイバーセキュリティの下に書いてあるとおりですけれども、インクルージョンのほうに参加していますが、2回目の会議を7月末にやるといったのがようやく今週やるという予定になっていて、案はできていて大体何を話すかというのは固まりつつあるんですけれども、登壇者が誰かというのは全然まだ決まっていなくて、それを22日に決めるということのようです。

【加藤】 ありがとうございます。

ちょうどブランクになっているAIについても同じで、AIは今週の木曜日、日本時間の24日の夜11時から会合をやると。そういう意味では、中身の決定に関する2回目の会議ということになりますけれども、まだこれもスピーカーといいますか、モデレーターは決まっていません。生成AIの議論を中心にやるということでもありますけれども、モデレーター、それは会場、リアルのモデレーターとオンラインのモデレーターを1人ずつ最低決めていくんだと思いますが、今まで、それを24日に議論するという段階になっています。

というのと、それから、実は今日の夜10時から、多分今のお二人も含めて参加できると思いますが、NRI全体セッションを含めたNRI全体の進め方の会議をやる予定です。ということで、これもまた何か御報告することがあれば御報告したいと思います。

何かNRI関係で御質問ございますか。もしなければ、これも後で思いついて追加の御質問等あればよろしく願います。

次の議題に移りたいと思います。これ今日特に議論したかったことでありますが、今年のIGFの国内会議、それを準備中ですが、今プログラム委員会といいますか、プログラムの決定のボランティアの中でいろいろ進めているんですが、これまたお願いして恐縮ですが、山崎さん、現状を御報告いただけますか。

【山崎】 書いてあるとおりですけれども、日本からIGF事務局のほうに応募したワークショップで、選定されたワークショップのオーガナイザーに連絡したんですが、合計9つありましたけれども、4つからはお断りがありまして、実質2つからはオーケーをいただきました。残りはまだ返事待ちです。ちょっと少ないんで、ワークショップに限定せずに、オープンフォーラムとかほかのカテゴリーにも広げて打診中なんですけれども、まだ色よい返事が来たところはないです。

この会合は9月の第1週、6日水曜日、7日木曜日、8日金曜日のいずれか、もしくはセッションが多ければ複数日にわたってやるということになっているんですけれども、まだ2つだと日程やら会場を決められるとこまでいっていないという状況です。ですから、今週確定すればぎりぎりですが、あと2週間しかないということでちょっとかなり焦っている状況ではあります。場合によっては日程をずらすことも考えなきゃいけないかなというふうに思いつつあるところですが、

今、映しているのがその候補となっているセッションですね。丸がついているのが登壇者からオーケーをいただいているところです。バツがついているのはお断りされたところです。何もついてないところはまだ返事待ちというところですので、その返事待ちのところがどれだけ_____するかで大分変わってくるとは思いますが、こういう状況です。

結構いろいろな分野にわたっていて、これ全部実現したら面白そうなんですけれども、現実的に言うと、1日か多くても2日で片がつく数に落ち着くんじゃないかというふうに思います。

ここに書いてあるように、ハイブリッドで開催するということにしていますので、オンラインだけでなく、会場どこか見つけてきて予約して、あと、リモートで参加できるように機材を運び込んでセッティングするというのをやらなきゃいけないんで、ちょっと人手はかかるんですが、いつもショートハンドなんでぎりぎりで行っているという、そういう感じですかね。

IGFの本番と同じセッションの仕立てなので、登壇者の中には日本語を話さない人もいらっしゃると思いますけれども、もしそういう人が登壇するようであれば英語でやっていただいて、ただし通訳はつけないということになります。

そんなところですけども、何か御質問があればお願いします。

【加藤】 ありがとうございます。

御質問ございますか。それとあと、この会に出ている方で、それなら自分が応募したセッションをやったりしてみたいという方がいればそれも結構ですし、皆さんいかがでしょうか。

先ほどから御参加の田中先生とか、立石さんというか立石先生の御提案の部分もあったかなと思うんですが、何かこの中に入っているのありますか。オープンフォーラムの58を立石さんのところで。

【立石】 これ、オープンフォーラムで、国連とかユニセフのほうから申請していたのが一応通ったようです。この間連絡いただいて、この実際のオープンフォーラムのパネリスト全員はちょっと難しいと思うんですけども、少なくとも日本人だけはそろいそう、3人ぐらい何とかなりそうなので、それでやりましょうかということで、今一応基本的にはオーケーいただいていて、今週いつだっけな、金曜日かな、に打ち合わせして、そこで最終的に決めようと思います。一応やる方向で今調整しています。以上です。

【加藤】 ありがとうございます。

そうすると、一応現時点では、山崎さん、3つやれそうだという感じですかね。

【山崎】 そうですね。丸3つついているんですけども、NSの44番とWSの396は一緒にやりたいということで実質2つなんで、立石さんのが入れば3つに、3セッションになって何とか形がつくかなということですのでごく期待しています。

【加藤】 一応プログラム担当は、3つ以上あれば実施と、日程とか時間の調整は最終的に参加の方々と調整しますが、何かやるという方向で議論はしていますので、ぜひ立石さんのところも、金曜日ぐらいにやる、やるようになったらどの日というのを言っていただけると、もう早々に決めて、日程も決めて皆さんに御報告したいというふうに思っています。

【立石】 分かりました。

【山崎】 田中さんからチャットで質問。

【加藤】 失礼しました。

【山崎】 Day 0でIT連盟から情報銀行に関するセッションが決まっているんですが、これに関しては国内事前会合は無関係だと思っていてよいのでしょうか。

それは、無関係ということはございませんで、もし御登壇をいただけるならぜひ加わっていただきたいと思いますね。

【田中】 もう打診の連絡はして、その関係者のほうにされているのでしょうか。国内会合に向けて。

【加藤】 されていないですね。

【山崎】 されていないですね、それは。

【加藤】 ワークショップの関係者、9チームにお声がけて、その後、今広げている段階で。

【山崎】 ようやく広げたところですね。

【加藤】 そうですね。だから、お声がけていないので、可能性があればぜひお願いしたいと思います。

【田中】 私からは全く未知数なので、可能性があるかどうか全然分からないんですけども、ちょっと背景をひっくり返してこのIT連盟の事務局として、IT連から今回こういうセッション、情報銀行関連で登壇することが決まっていますので、それに当たってフォローの係をすることになっておりましたので、何かあればと思って質問させていただいた次第です。

【山崎】 では、お誘いの御連絡をするようにします。

【加藤】 これは田中先生経由でよろしいんですか。

【田中】 もし可能であれば山崎様から御連絡いただいて、私もCCに入れていただければフォローができるかなという感じだと思いますが、決めるのは、お返事はそのセッションの登壇関係者になるかと思いますので。

【加藤】 そうですね。

【山崎】 では、私から連絡するようにします。

【加藤】 どうもありがとうございます。

ほかにこういうところに声をかけたらどうかというのはございますか。

あと、プログラムを推進している9チームで、高松さんのお名前を拝見しているんですが、高松さんとか堀田さんとかコメントや御意見ございますか。

【高松】 高松です。

【加藤】 よろしく申し上げます。

【高松】 特に付け加えるコメント等はこの場ではございません。

【加藤】 分かりました。

今3つやれそうだということで、とにかくもう少し最後まで粘り強くやる方向で検討したいということによろしいでしょうかね。

堀田さんから何か御意見ございますか。

【堀田】 堀田です。どうもありがとうございます。

もう来週、再来週ですね。2週間後のことなので、日を早く決めてお声がけしないといけないかなというふうに思いますね。

【加藤】 そのとおりだと思います。

皆さん、何かほかにございますか。

本田さんお願いいたします。

【本田】 すみません、全く関わってなくて、単純になんですが、返事待ちということではノーレスポンスと、要するに何の返事もないということなのか、確定してなくてまたちょっと考えますという返事が来ているものもあるのかということと、あと、締切りというか、もう日がある程度決めてこの日にできるならお願いしますという感じにするのか。その辺の日程感というのはあるんでしょうか。

【山崎】 両方ありまして、例えば夏休みでまだ連絡がつかないという方もいらっしゃいますし、やり取りはしているんですけども最終的な判断はまだ下されていないという人もいますし、両方あります。ですから、その中で色よい返事をもらえそうなのは1個か2個か、多分それぐらいだと思います。

【加藤】 それは、今、声かけた9個のうち6個はイエス、ノーがはっきりしていて、残りの3つプラス、今ほかに追加で声かけていただいているところの中で1つ2つというイメージですね。

【山崎】 そうです。

【加藤】 そうですね。それでも.....。

失礼しました。本田さん、どうぞ。

【本田】 となると、私の意見では、もう既に手を挙げていただいているところから調整をして、じゃあ日を決めた中でほかにも出られますかと、まだ出られますかというところで1個か2個来るといふところなのかなというイメージなんですけれども、少しそれはちょっと客観的にそういうコメントをさせてください。

【加藤】 ありがとうございます。そうですね。タイミング的にももう今週中には決めたいと思いますけれども、いかがですかね。

先ほどの、立石さんの件がもし今週金曜日にでも決まれば、もうその日にはぎりぎり全体を決めたいというイメージじゃないでしょうか。

堀田さん、いかがですかね。もうぎりぎりではありますけれども。

【堀田】 堀田です。

私も、本田さんがおっしゃった方法で早く、最初からもう手挙げて二、三週間待ってくださっ

ている方もいるので、その方々の都合優先で日を先に決めてから。

【加藤】 もう一度声かけますか、それで。

【堀田】 ええ、この日のできる方というふうにしたほうが、結果的に残念ながらという人が減るというふうに思います。

【加藤】 そういう意味で言うと、山崎さん、今この丸がついている3つの方々は2つに統合したとして、この日がいいという時間はあるんでしたっけ。

【山崎】 7日がアンドが取れていますね、7日木曜日。

【加藤】 7日の午後ですね。

【山崎】 はい。

【加藤】 じゃあ7日の午後に核として、あと、7日、8日とするか、7日の中にもう一つ入れるかというイメージで、7日、8日に確定しますかね、それ。

【山崎】 8日がもう会議室に空きがほとんどなくて、だから7日で全部入れば7日にしたいところですけども、7日じゃ駄目だとおっしゃることが出てくれば8日なり6日を追加するということも考えるという、そんな感じですかね。

【加藤】 分かりました。じゃあ7日一日だけになる可能性も十分あるということですね。

【山崎】 あります。

【加藤】 もし4つ目が入ってきた場合は若干長めにして。じゃあ今日この場では、9月7日木曜日午後、場合によっては6日、8日の午後にもう一日あるかもしれないということで決定しますかね。いかがでしょうか。もし御異議なければ、今、現実的な方向として可能性が高いというより、現時点では、そうですね、開催する方向とすると。都合が悪いセッションは6日または8日を検討すると。それも今週中には決定したいと。それでいかがでしょうか。

本田さん、堀田さん、そんなイメージでよろしいでしょうかね。

【本田】 そうですね。

【堀田】 堀田、賛成です。

【本田】 いいと思います。

【加藤】 ありがとうございます。それじゃあその方向でプログラムボランティアのほうも動いていくことにしたいと思います。

並行して、山崎さん、案内のメールのドラフトとか進めたほうがいいと思うので、前回は参考にしながら、今の決まっている2つ、2プラス1をどうやって入れるかという作業も進めていったほうがいいかなというふうに思います。

そういうことで、今日のアジェンダとしては大体これでカバーしたと思いますけれども、何かほかに、または今日議論した中での追加の御質問、御意見ございますでしょうか。

この場をお借りしてあれですけども、プログラム委員会といいますか、ボランティアの方々を一度、今週金曜日の時点かどこかで集まったほうがいいと思いますので、またちょっとメール

でやり取りをさせていただきたいと思います。

いかがでしょうか。ほか何か案件ございますか。

もし皆さんなければ、1つ来週の月曜日がDay 0で、来週月曜日から木曜日まで、オーストラリア、ブリスベンでAPrIGFがありまして、御参考までですが、私は今年、若干見物になりますけれども参加してこようと思っています。特に日本がどうなっているんだとか、いろいろな質問もあるかもしれませんので、そういうことについて分かる限りでお答えしたりというようなことをしたいと思っています。日本からほかに参加される予定の方々、いらっしゃると思いますが、もし表明いただける方があればお願いしたいんですが、いかがでしょうか。

【立石】 一応、私も行く予定にしています。

【加藤】 立石さん、ありがとうございます。

【山崎】 私も行く予定にしています。

【加藤】 山崎さんですね。ぜひよろしくお願いします。

【堀田】 堀田も行きます。

【加藤】 分かりました。ありがとうございます。どこかで、私は日曜日の夜出て月曜日の朝、早朝に着く予定ですが、ぜひ、まず会場、Day 0がもう月曜日から始まると思いますが、どこかでお会いできればと思います。よろしくお願いします。

それぐらいでしょうか。何かこの場で御提案いただくことありますか。

じゃあこの次の会議ですが、山崎さん、前は9月11日としましょうかというお話だったんですが、皆さんいかがでしょうかね。先ほどのプログラム委員会はそれまでに、9月7日プラスアルファで行う会議のためのミーティングが必要かと思いますが、その次はそれが終わった直後のものと予定していた9月11日ということでよろしいでしょうか。

【山崎】 順調にいきますと、IGF2023国内事前会合が終わった直後ということで、反省会みたいな形になるのではないのでしょうか。

【加藤】 そうですね。じゃあもし御異議がなければ、次回の活発化チームの会議は9月11日、いつもの夕方5時からということにさせていただきたいと思います。そこでは、今の国内の、もし開催されていれば国内IGFの反省会、プラス、いよいよもう1か月を切る段階になりますので、京都会議の打合せ。それから、さっき申し上げたとおり、京都以降をどうするかということをそろそろどこかでスタートしていくので、そのときに議論するかどうかは別にして、そういうことを考えていく段階に近づいていると思います。

繰り返しになりますが、どなたか追加で御質問、御意見、コメントあればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。特にないですか。

【山崎】 田中さんが手を挙げていらっしゃいます。

【加藤】 失礼しました。田中先生、お願いします。

【田中】 度々すみません。

【加藤】 いえ、とんでもない。

【田中】 差し出がましく大変恐縮なのですが、今回京都開催がある非常に貴重な機会の中、日本の活動をされている枠組みの中で、ユースに、若い人たちの参加に焦点を当てたものが今のところ私としては認知できておりませんで、少しでも若い人たちの参加を促す取組ができればという思いで本学でもSIGの活動をしております。そういうことも含めて、Day 1のイベントを、ユースということを、何とかなるべく盛り上げられるようにと思って企画をしておりますので、ぜひとも皆さんからも御協力をいただければ、告知ですとか案内、ないしはいろいろな形で御協力いただければ大変ありがたく思いますので、ユースへの兼ね合いで応援いただければありがたいです。どうぞよろしくお願いします。

【加藤】 ありがとうございます。ユースをやっていただく非常に貴重なイベントだと思いますので、具体的にこういうことをやってほしいというようなことがあれば、ぜひこのグループのメーリングリストにもどんどん御遠慮なく書き込んでいただいて、ボランティアを募っていただければと思います。

ほかに何もありませんでしょうか。もしなければ、ちょうど今6時になりました。ぜひうまくいけば日本IGFの会議で次回お目にかかるということで、今日は貴重なお時間大変ありがとうございました。じゃあ、これで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。